

相談室便り「架け橋」

第6号(2021年12月)

発行者: SC 竹之上房幸

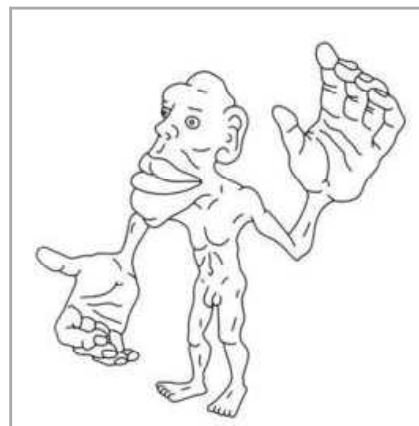
ペンフィールドの「ホムンクルス」

【図1】

右の【図1】の怪物(?)をご存知でしょうか？

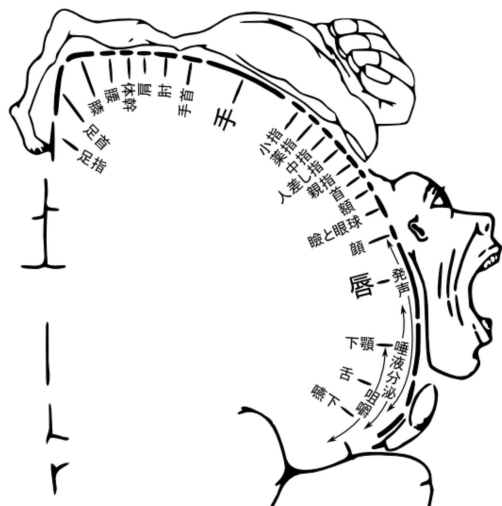
何ともグロテスクな姿をしています。実は、この怪物は、私たち人間の特徴を表現しているものなのです！

この怪物は、「ペンフィールドのホムンクルス」と呼ばれています。



ホムンクルスとは、もともと古代ヨーロッパの錬金術で作られたとされる「こびと」のことだったそうですが、現在では、カナダの脳神経外科医ペンフィールド(1891～1976)が、私たちの身体の**感覚や運動に関わる脳の部分とそれらが脳でどれくらいの面積を占めているか**を研究した結果(【図2】)を**立体化したもの**の呼び名になっています。脳に占める面積で人間を表せば、こんな「怪物」(【図1】)のようになるのです。

【図2】



ところで、この地図(図2)を見ると、**脳の上の部分**は足の指など体の下の部分、**脳の下部分**は舌やのどなどの体の上の部分の働きをつかさどっていることがわかります。脳の働きの場所は、体の位置と逆さまなのです。おもしろいですね。

このように、**脳の中で場所ごとに手や足の感覚や運動が分業して働いている**ことがわかりますが、**ホムンクルスの絵(【図1】)**を見ると、**手と口が非常に大きい**ことがわかりますね。これは、**その働きの大切さに比例している**のだそうです。人間は手を使って文明を築き、言葉を用いて文化を発展させてきたため、手と口の働きにかかわる**脳の面積がとても大きい**のです。

ホムンクルスから私たちは何を学ぶことができるのでしょうか。それは、**脳を活性化するには、手と口の働きを活発にすることが大切**であるということです。たとえば、**新しい知識や技術を身につけようとする際には、声に出して、手を動かしながらイメージトレーニングをする**ことを心がけてみてはどうでしょう。きっと、これまで以上に知識や技術が定着していくことでしょう。

12月・1月のスクールカウンセラー出勤日

12月	1日(水)・8日(水)・10日(金)・15日(水)・17日(金)・22日(水)
1月	12日(水)・14日(金)・19日(水)・21日(金)・28日(金)

カウ ン セ リ ン グ 申 込 書

生徒学年・組・氏名	年 組	氏名	
相 談 希 望 日	第1希望 月 日 () 時間 : ~ :	第2希望 月 日 () 時間 : ~ :	
相 談 希 望 者	生徒本人・保護者 () ・ その他 () <small>(いずれかに○印を付けてください。本人以外の場合は、カッコ内に続柄をご記入ください。)</small>		
日中連絡先電話番号	— —		
あらかじめ連絡しておきたいこと			